2．減価償却の会計処理方法
⑴　有形固定資産
定額法を採用しています。
耐用年数については、法人税法上の耐用年数を基準としています。
ただし、リース資産についてはリース期間を、受託研究等収入及び受託事業等収入の直接経費相当分により購入した償却資産については、当該契約期間を耐用年数としています。
なお、主な資産の耐用年数は、以下のとおりです。
建物　6～50年
構築物　10～60年
工具器具備品　3～15年
船舶　7年
車両運搬具　6年
また、特定の償却資産（国立大学法人会計基準第84）及び資産除去債務に対応する特定の除却費用等（国立大学法人会計基準第90）に係る減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しています。
⑵　無形固定資産
定額法を採用しています。
耐用年数については、法人税法上の耐用年数を基準としています。
ただし、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間を耐用年数としています。
なお、主な資産の耐用年数は、以下のとおりです。
特許権　8年
法人内利用ソフトウェア　5年
3．貸倒引当金の計上基準
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権は個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。
なお、当事業年度においては、貸倒引当金は計上していません。
4．賞与引当金及び見積額の計上基準
翌年度の運営費交付金以外により財源措置される教職員については、賞与の支払に備えるため、当該教職員に対する賞与支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しています。
翌年度の運営費交付金により財源措置がなされる役員及び教職員については、賞与引当金を計上していません。なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外賞与増加見積額は、当事業年度末の引当外賞与見積額から前事業年度末の同見積額を控除した額を計上しています。
5．退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準
退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上していません。
なお、国立大学法人等業務実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、基準第35に基づき計算された退職一時金に係る退職給付引当金の当期増加額を計上しています。
6．有価証券の評価基準及び評価方法
その他有価証券
期末日の市場価格等に基づく時価法を採用しています。
7．たな卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法を採用しています。
8．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用
近隣の地代、賃借料及び地方公共団体の条例に定められた占有料等を参考に計上しています。
⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
決算日における10年もの国債（新発債）の利回りは△0.050％でしたが、「国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の算定に係る利回りについて（通知）」（平成28年４月14日付け28文科高第63号）に基づき、０％で計算しています。
9．リース取引の会計処理
リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
10．消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によります。
重要な債務負担行為
当期中に契約を締結し、翌期以降に支払を予定している債務負担行為は以下のとおりです。
（単位：円）

件名	契約金額	翌期以降の支払金額		
		一年以内	一年超	計
教育用電子計算機システム賃貸借（2015）	60,547,536	15,136,884	44,149,245	59,286,129
包括ソフトウェアライセンス⑵　一式	10,517,040	10,517,040	0	10,517,040
電気通信大学構内電気・機械設備等保全業務	214,488,000	72,051,228	70,934,400	142,985,628
学内清掃業務　一式	54,432,000	27,216,000	27,216,000	54,432,000
合計	339,984,576	124,921,152	142,299,645	267,220,797

金融商品の時価等の注記事項
1．金融商品の状況に関する事項
本学は、資金運用については、預金及び国債等に限定しています。
資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき公債等のみを保有しており株式等は保有していません。
2．金融商品の時価等に関する事項
期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。
（単位：円）

	①貸借対照表計上額（＊１）	②時価（＊１）	差額②－①（＊１）
⑴　有価証券	500,000,000	500,000,000	0
⑵　現金及び預金	1,452,575,372	1,452,575,372	0
⑶　リース債務	(477,587,523)	(478,117,466)	(529,943)
⑷　未払金	(956,620,251)	(956,620,251)	(0)

（＊１）負債に計上されるものについては、（　）で示しています。
（注１）金融商品の時価の算定方法
⑴　有価証券
これらの時価については、取引金融機関から提示された価格によっています。
⑵　現金及び預金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。